

校長室の窓から

No.6

平成26年 7月 1日
尼崎市立武庫東中学校
校長 小谷 豪 郎

さあ！ 夏休みだ！！

いよいよ待ちに待った夏休みです。1学期を振り返り自分自身でここが足りなかったな、ここは少し手を抜いてしまったな、というところを素直に反省し夏休み中に計画的に追いつき取り戻せるよう努力しましょう。

1年生は、中学校で本格的に始まった英語、夏休み中にしっかりと復習をして遅れを取り戻しましょう。また、難しくなった数学についても2学期までに取り戻せるよう頑張りましょう。

2年生は、総体が終わると部活動でも中心になって本当の意味で「文武両道」勉強と部活動を両立させなければならない時期です。計画的に毎日少しずつ積み重ねていきましょう。

3年生は、1学期の成績も出だし、期末懇談で希望校の選択について十分に話を聞いたと思います。私立高校、公立高校、どちらを選択するにしても、自分の能力をさらに伸ばしてくれる、自分の能力を発揮できる、自分の将来につながる、そして自分から通いたい、そんな思いで学校選択をして下さい。

オープンハイスクールや学校別説明会等にどんどん出かけ、直接学校の様子を知ることが大切です。パンフレットやパソコンなどでホームページから学校の様子を伺いすることも可能です。

ガンバシ！ チーム武庫東！！

いよいよ、今年も夏の全国大会へと続く中学校総合体育大会が始まります。昨年は、10年ぶりに男子テニス部が団体で、全国大会へ出場するという結果を残しましたが、本年度の「チーム武庫東」どの部活が何処まで頑張れるか、楽しみです。

市内大会は、5日（土）から始まります。市内の中学校が会場になったり、ベイコム競技場や市立高等学校が会場になる事があります。会場によってそれぞれ使用上の注意や、競技種目ごとにも応援・観戦のルールがあります、応援に行きたい生徒は、必ず前日までに各部活の顧問の先生の前へ行って了解を得るようにして下さい。事前に連絡なしで勝手に会場へ行った場合退場を命じられる事があります。勿論普通の学校生活と同じことで制服・名札の着用は常識です。私服では中学生の応援・観戦はできません。

また、市内の会場ですので近いところもありますが、会場が学校の場合に応援や観戦に行く時は、自転車や自家用車に乗り合わせで行くのは絶対にやめて下さい、必ず公共交通機関をお願いします。試合の関係チームや役員・審判員などの自転車・車・バイクで駐車スペースが足らなくなってしまうのでよろしくお願いします。

毎年恒例、期末考査の最終日に市内総体に向けての壮行会が開催され各部活のキャプテンが力強い決意を表明しました。さらに恒例の七夕の笹飾りの短冊に思いを込めて、今年も生徒玄関に飾ってあります。

あきらめるな、悔いを残すな、最後まで力を尽くせ、目標は高く！！



感動・感激 そして寝不足？

先週まで、ブラジルで開催されているサッカーのワールドカップの日本チームの試合が気になって、朝5時から中継を見たりして寝不足になっていませんか。

結果は、残念ながら予選リーグ最下位で決勝トーナメントへ進出することはかなわなかったですが、世界ランキング46位のチームが、アジア予選を通過して本戦にまで出場できたこともすごい頑張りだったと思いますが、選手たちにとってはやはりこの4年間に積み上げてきたものがあるし、決勝トーナメントで少しでも多く戦い高い位置へと目標を持って取り組んできたと思います。

野球の世界では以前から日本人の力が認められ、メジャーリーグで活躍する姿が多く見られましたが、サッカーやバスケットボールなど、同一コート内で身体接触を伴う競技では、体格や体力差が有り日本人はまだまだ実力を発揮できない、という状況が長く続いていましたが、以前とは違い、多くの有望な選手が海外の有名クラブに所属し、世界的レベルの中で十分に活躍していけるように、身体能力も含め全体的にレベルが高くなってきていると思います。しかし、ここで勝ちきれないのは、あと少し何か足りないのでしょうか。新しい監督になり新しいメンバーになってその何かクリアされたとき本当の意味で日本のサッカーが世界で通用するようになるでしょう。サッカーファンの皆さんはそれまでしっかりと応援しましょう。

試合後の選手それぞれのインタビューを聞きましたか？すでに引退を表明している選手、あくまで4年後も狙う強い意志の選手、今までの思いがこみ上げてきて冷静にインタビューに答えられない選手、悔しい思いをしたのはみんな一緒です。選手の言葉をしっかりと聞いてその言葉に込められた気持ちを感じとって下さい。きっと感動・感激がこみ上げて来ると思います。

長友選手が、画面に映し出されながら泣いていました。他にもいたかもしれません。私が特に感動したのが、長友選手の姿でした。素晴らしい男泣きです。感動の涙です。

私もそうですが、男は人前で泣いたらだめだ。そう教えられて育った男性が多いかと思いますが、実は違うのです。こんな時にこそ人前で泣ける人間は、強いのです。泣いたら終わりなんて思っていないのです。弱い人間ほど人前で泣いたら総てが崩れ去ってしまうと考えているので無理に我慢してしまうのです。

無理に感情を抑えず、しっかりと感情表現をするのです。



《今月のことば》

『人をなぐさめた後は、必ず現実的な厳しい意見を』

なぐさめは、痛み止めです。

根本的な治療にはなりません。

痛み止めの後は、ちゃんと治療を。

大切な人だからこそ、厳しい現実を語ってあげましょう。

でも、まずは痛み止めから始めるのですよ。

